

蒲生干潟周辺の塩分濃度⑤

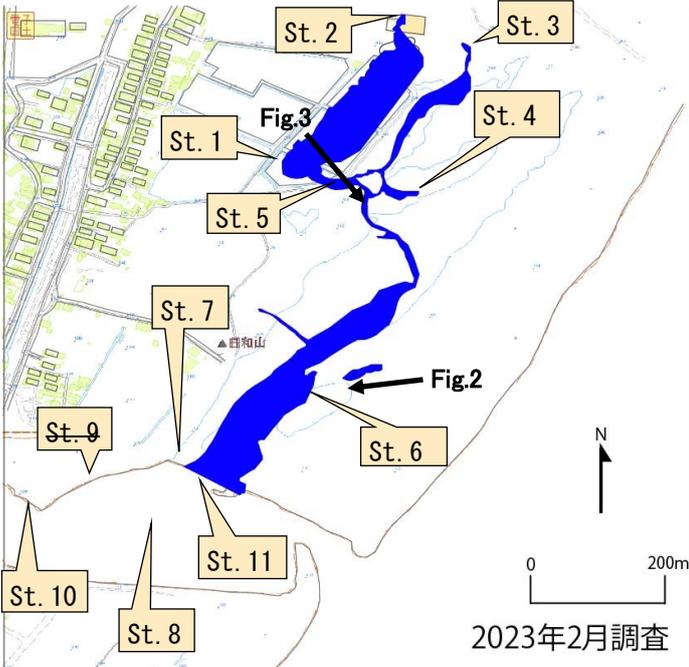


Fig.1 2023/2/22 採水点

Table.1 2023. 2月 塩分濃度(%)

採水点	2023 2/22	2023 1/31	増減	2022 2/15	増減
St. 1	2.9	2.9	0.0	3.2	-0.3
St. 2	2.0	2.0	0.0	1.3	0.7
St. 3	1.7	1.9	-0.2	1.5	0.2
St. 4	2.6	2.5	0.1	1.5	1.1
St. 5	2.9	3.0	-0.1	3.0	-0.1
St. 6	3.2	3.2	0.0	2.7	0.5
St. 7	3.3	3.6	-0.3	3.4	-0.1
St. 8	-	3.6	-	2.5	-
St. 9	3.3	3.5	-0.2	3.2	0.1
St. 10	1.8	2.4	-0.6	1.1	0.7
St. 11	3.3	3.6	-0.3	3.4	-0.1

※ 汽水基準値(0.05～3.0%)



Fig.2 St.6付近の様子



Fig.3 St.5付近の様子

調査日時：2023年2月22日（水）13:30～15:00（干潮 11:03 潮位 48cm），天気：晴れ

干潮後の時間帯での調査。Fig.1に示す採水点St.1～St.11を対象に塩分濃度の測定を行った（St.9は河口の形状変化により測定不能）。塩分濃度の測定については前月までと同じ方法で行った（過去レポート参照）。それぞれの結果を2023.2月塩分濃度（%）としてTable.1に記載し、前回までの調査（2023.1月，2022.2月）結果と比較した。

先月と比較すると、潟湖全体で水量が少なかった。そのため、St.6付近の南東潟湖は分断していた（Fig.2）。導流堤からは、潟湖内への水の流入が確認できた。塩分濃度は、干潟内すべての地点（St.1～7）で、ほぼ先月と同等の値を示した。昨年と比較すると、北部側のSt.2で0.7%、St.4で1.1%高い値を示した。北部側のSt.1では、旧養魚場跡地からの水の流入が見られた。また、St.5付近では、南部側へ向かう水の流れが見られた（Fig.3）。

（沼尾和弥）